

川崎市に住む就業者の産業構成

この抽出詳細集計結果では、川崎市に住む15歳以上の就業者の産業・職業構成を詳細な分類(小分類)でみる事ができます。では、川崎市に住んでいる人が、どんな産業で働いているのかを、みてみましょう。

1. 産業小分類別就業者数

(1) 区別にみた就業者の産業構成

川崎市に住んでいる15歳以上就業者数を産業小分類別にみると、「建設業」が最も多く、次いで「ソフトウェア業」、「食堂、そば・すし店」※となっています。

これを区別にみると、中原区で「ソフトウェア業」の就業者数が最も多く、その他の区では「建設業」の就業者数が最も多くなっています。(表1)

※「食堂、そば・すし店」とは、食堂、日本料理店、西洋料理店、中華料理店及びその他の料理店並びにそば店、うどん店、すし店など主食をその場所で飲食させる事業所をいう。

表1 区別就業者数の多い産業小分類 上位5位

川崎市			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		695 774	100.00
1	建設業	55 318	7.95
2	ソフトウェア業	35 594	5.12
3	食堂、そば・すし店	23 884	3.43
4	道路貨物運送業	17 566	2.52
5	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	15 554	2.24

川崎区			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		106 004	100.00
1	建設業	12 678	11.96
2	道路貨物運送業	5 097	4.81
3	食堂、そば・すし店	3 887	3.67
4	ソフトウェア業	3 302	3.11
5	金属製品製造業	2 418	2.28

幸区			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		74 804	100.00
1	建設業	6 810	9.10
2	ソフトウェア業	4 080	5.45
3	食堂、そば・すし店	3 270	4.37
4	道路貨物運送業	2 570	3.44
5	労働者派遣業	1 640	2.19

中原区			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		118 455	100.00
1	ソフトウェア業	8 853	7.47
2	建設業	6 227	5.26
3	食堂、そば・すし店	3 953	3.34
4	労働者派遣業	2 613	2.21
5	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	2 379	2.01

高津区			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		112 041	100.00
1	建設業	7 868	7.02
2	ソフトウェア業	5 890	5.26
3	食堂、そば・すし店	3 945	3.52
4	労働者派遣業	2 615	2.33
5	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	2 562	2.29

宮前区			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		105 474	100.00
1	建設業	8 413	7.98
2	ソフトウェア業	4 914	4.66
3	食堂、そば・すし店	3 317	3.14
4	道路貨物運送業	2 678	2.54
5	労働者派遣業	2 120	2.01

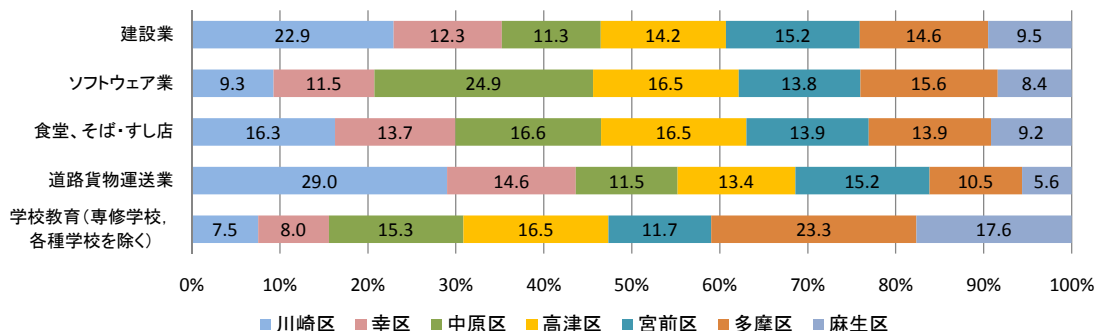
多摩区			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		104 485	100.00
1	建設業	8 062	7.72
2	ソフトウェア業	5 564	5.33
3	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	3 628	3.47
4	食堂、そば・すし店	3 326	3.18
5	労働者派遣業	2 265	2.17

麻生区			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		74 511	100.00
1	建設業	5 260	7.06
2	ソフトウェア業	2 991	4.01
3	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	2 743	3.68
4	食堂、そば・すし店	2 186	2.93
5	他に分類されない事業サービス業 1)	2 014	2.70

1) 包装業、メーリングサービス、シルバー人材センターなど

川崎市内で就業者数の多かった産業小分類の上位5位について、各区の占める割合をみてみると、「建設業」、「道路貨物運送業」で、川崎区の割合が最も高く、「ソフトウェア業」、「食堂、そば・すし店」では中原区、「学校教育(専修学校、各種学校を除く)」では多摩区の割合が最も高くなっています。(図1)

図1 各区の就業者数割合(上位5位までの産業小分類)



(2)男女別にみた就業者の産業構成

川崎市に住んでいる15歳以上就業者のうち、男性では「建設業」の割合が最も高く、次いで「ソフトウェア業」、「道路貨物運送業」となっています。これを区別にみると、中原区で「ソフトウェア業」の就業者が最も高く、その他の区では「建設業」が最も高くなっています。

女性では、「食堂、そば・すし店」の割合が最も高く、次いで「労働者派遣業」、「病院」となっています。これを区別にみると、川崎区、幸区、中原区、高津区、宮前区では「食堂、そば・すし店」が、多摩区、麻生区では「学校教育(専修学校、各種学校を除く)」が最も高くなっています。(表2)

表2 男女、区別就業者数の多い産業小分類 上位5位

川崎市・男			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		430 677	100.00
1	建設業	48 088	11.17
2	ソフトウェア業	29 039	6.74
3	道路貨物運送業	14 781	3.43
4	食堂、そば・すし店	11 106	2.58
5	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	7 083	1.64

川崎市・女			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		265 097	100.00
1	食堂、そば・すし店	12 778	4.82
2	労働者派遣業	9 754	3.68
3	病院	9 551	3.60
4	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	8 471	3.20
5	建設業	7 230	2.73

川崎区・男			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		66 222	100.00
1	建設業	11 144	16.83
2	道路貨物運送業	4 239	6.40
3	ソフトウェア業	2 613	3.95
4	金属製品製造業	1 911	2.89
5	食堂、そば・すし店	1 755	2.65

川崎区			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		39 782	100.00
1	食堂、そば・すし店	2 132	5.36
2	建設業	1 534	3.86
3	病院	1 495	3.76
4	労働者派遣業	1 391	3.50
5	他に分類されない事業サービス業 1)	1 313	3.30

幸区・男			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		45 741	100.00
1	建設業	6 010	13.14
2	ソフトウェア業	3 210	7.02
3	道路貨物運送業	2 030	4.44
4	食堂、そば・すし店	1 300	2.84
5	道路旅客運送業	930	2.03

幸区			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		29 063	100.00
1	食堂、そば・すし店	1 970	6.78
2	労働者派遣業	1 060	3.65
3	病院	1 060	3.65
4	ソフトウェア業	870	2.99
5	建設業	800	2.75

中原区・男			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		74 108	100.00
1	ソフトウェア業	7 085	9.56
2	建設業	5 226	7.05
3	食堂、そば・すし店	2 028	2.74
4	道路貨物運送業	1 703	2.30
5	通信機械器具・同関連機械器具製造業	1 612	2.18

中原区			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		44 347	100.00
1	食堂、そば・すし店	1 925	4.34
2	ソフトウェア業	1 768	3.99
3	労働者派遣業	1 729	3.90
4	病院	1 677	3.78
5	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	1 404	3.17

高津区・男			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		69 059	100.00
1	建設業	6 867	9.94
2	ソフトウェア業	4 798	6.95
3	道路貨物運送業	1 978	2.86
4	食堂、そば・すし店	1 939	2.81
5	金属製品製造業	1 210	1.75

高津区			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		42 982	100.00
1	食堂、そば・すし店	2 006	4.67
2	労働者派遣業	1 847	4.30
3	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	1 470	3.42
4	病院	1 443	3.36
5	ソフトウェア業	1 092	2.54

宮前区・男			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		65 577	100.00
1	建設業	7 256	11.06
2	ソフトウェア業	4 160	6.34
3	道路貨物運送業	2 314	3.53
4	食堂、そば・すし店	1 551	2.37
5	その他の機械器具卸売業 2)	1 079	1.65

宮前区			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		39 897	100.00
1	食堂、そば・すし店	1 766	4.43
2	各種食料品小売業 3)	1 498	3.75
3	病院	1 391	3.49
4	労働者派遣業	1 339	3.36
5	建設業	1 157	2.90

多摩区・男			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		64 542	100.00
1	建設業	7 035	10.90
2	ソフトウェア業	4 732	7.33
3	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	1 716	2.66
4	道路貨物運送業	1 626	2.52
5	食堂、そば・すし店	1 460	2.26

多摩区			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		39 943	100.00
1	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	1 912	4.79
2	食堂、そば・すし店	1 866	4.67
3	病院	1 495	3.74
4	労働者派遣業	1 417	3.55
5	他に分類されない事業サービス業 1)	1 170	2.93

麻生区・男			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		45 428	100.00
1	建設業	4 550	10.02
2	ソフトウェア業	2 441	5.37
3	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	1 342	2.95
4	食堂、そば・すし店	1 073	2.36
5	他に分類されない事業サービス業 1)	1 060	2.33

麻生区			
順位	産業小分類	就業者数	割合(%)
15歳以上就業者数(分類不能の産業を含む)		29 083	100.00
1	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	1 401	4.82
2	食堂、そば・すし店	1 113	3.83
3	病院	990	3.40
4	労働者派遣業	971	3.34
5	他に分類されない事業サービス業 1)	954	3.28

- 1) 包装業、メーリングサービス、シルバー人材センターなど
- 2) 農業用機械器具卸売業、建設機械卸売業など
- 3) 食料雑貨店、販売店(各種食料品を販売するもの)など

川崎市内で就業者数の多かった産業小分類の上位5位について、各区の占める割合を男女別にみってみると、男性では「建設業」、「道路貨物運送業」で川崎区の割合が最も高く、「ソフトウェア業」、「食堂、そば・すし店」で中原区、「学校教育(専修学校、各種学校を除く)」で多摩区の割合が最も高くなっています。(図2)

女性では、「食堂、そば・すし店」、「建設業」で川崎区の割合が最も高く、「労働者派遣業」で高津区、「病院」で中原区、「学校教育(専修学校、各種学校を除く)」で多摩区の割合が最も高くなっています。(図3)

図2 各区の就業者数割合・男(上位5位までの産業小分類)

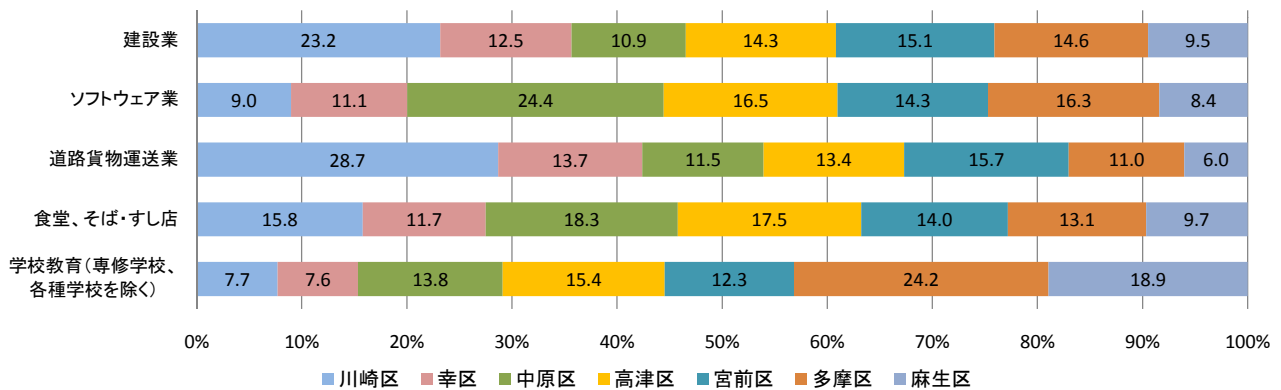
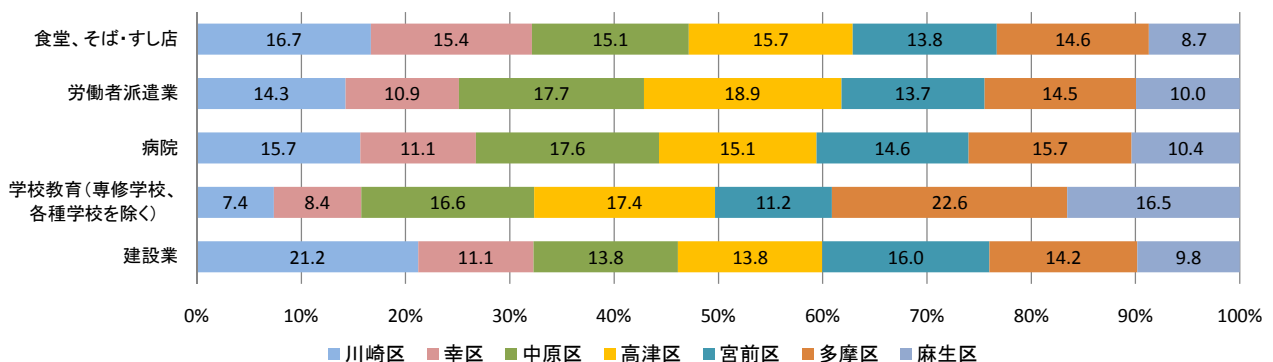


図3 各区の就業者数割合・女(上位5位までの産業小分類)



(3)年齢別にみた就業者の産業構成

産業小分類15歳以上就業者を年齢別にみると、15歳～19歳で「食堂、そば・すし店」の割合が最も高くなっています。20歳代で、「ソフトウェア業」、30歳代、40歳代、50歳代、60歳以上で「建設業」の割合が最も高くなっています。

これを男女別でみると、男性では、15～19歳でコンビニエンスストアなどの「その他の飲食料点小売業」の割合が最も高く、20歳代では、「ソフトウェア業」、30歳代、40歳代、50歳代、60歳以上では「建設業」の割合が最も高くなっています。

女性では、15～19歳及び50歳代で「食堂、そば・すし店」の割合が最も高く、20歳代で「病院」、30歳代で「労働者派遣業」、40歳代で「学校教育(専修学校、各種学校を除く)」、60歳代で「建物サービス業」の割合が最も高くなっています。(表3)

表3 年齢、男女別就業者数の多い産業小分類 上位5位

15～19歳									
順位	産業小分類	総数		産業小分類	男		産業小分類	女	
		就業者数	割合(%)		就業者数	割合(%)		就業者数	割合(%)
	15歳以上就業者数 1)	10 596	100.00	15歳以上就業者数 1)	5 450	100.00	15歳以上就業者数 1)	5 146	100.00
1	食堂、そば・すし店	1 726	16.29	その他の飲食料点小売業 2)	787	14.44	食堂、そば・すし店	997	19.37
2	その他の飲食料点小売業 2)	1 209	11.41	食堂、そば・すし店	729	13.38	その他の飲食料点小売業 2)	422	8.20
3	各種食料点小売業 3)	741	6.99	各種食料点小売業 3)	395	7.25	各種食料点小売業 3)	346	6.72
4	その他の一般飲食店 4)	420	3.96	建設業	324	5.94	その他の一般飲食店 4)	213	4.14
5	遊興飲食店	399	3.77	その他の一般飲食店 4)	207	3.80	喫茶店	206	4.00

20～29歳									
順位	産業小分類	総数		産業小分類	男		産業小分類	女	
		就業者数	割合(%)		就業者数	割合(%)		就業者数	割合(%)
	15歳以上就業者数 1)	144 505	100.00	15歳以上就業者数 1)	81 904	100.00	15歳以上就業者数 1)	62 601	100.00
1	ソフトウェア業	12 199	8.44	ソフトウェア業	9 190	11.22	病院	3 242	5.18
2	建設業	6 945	4.81	建設業	5 949	7.26	ソフトウェア業	3 009	4.81
3	食堂、そば・すし店	5 964	4.13	食堂、そば・すし店	3 136	3.83	労働者派遣業	2 972	4.75
4	労働者派遣業	4 862	3.36	道路貨物運送業	2 098	2.56	食堂、そば・すし店	2 828	4.52
5	病院	3 770	2.61	労働者派遣業	1 890	2.31	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	1 849	2.95

30～39歳									
順位	産業小分類	総数		産業小分類	男		産業小分類	女	
		就業者数	割合(%)		就業者数	割合(%)		就業者数	割合(%)
	15歳以上就業者数 1)	194 412	100.00	15歳以上就業者数 1)	125 931	100.00	15歳以上就業者数 1)	68 481	100.00
1	建設業	14 739	7.58	建設業	12 995	10.32	労働者派遣業	3 912	5.71
2	ソフトウェア業	14 582	7.50	ソフトウェア業	11 984	9.52	病院	2 802	4.09
3	労働者派遣業	5 436	2.80	道路貨物運送業	4 475	3.55	ソフトウェア業	2 598	3.79
4	道路貨物運送業	5 380	2.77	食堂、そば・すし店	2 638	2.09	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	2 097	3.06
5	食堂、そば・すし店	4 616	2.37	通信機械器具・同関連機械器具製造業	2 417	1.92	食堂、そば・すし店	1 978	2.89

40～49歳									
順位	産業小分類	総数		産業小分類	男		産業小分類	女	
		就業者数	割合(%)		就業者数	割合(%)		就業者数	割合(%)
	15歳以上就業者数 1)	139 690	100.00	15歳以上就業者数 1)	87 925	100.00	15歳以上就業者数 1)	51 765	100.00
1	建設業	11 062	7.92	建設業	9 681	11.01	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	2 122	4.10
2	ソフトウェア業	6 713	4.81	ソフトウェア業	5 900	6.71	労働者派遣業	1 960	3.79
3	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	3 916	2.80	道路貨物運送業	3 047	3.47	食堂、そば・すし店	1 721	3.32
4	道路貨物運送業	3 835	2.75	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	1 794	2.04	他に分類されない事業サービス業 5)	1 651	3.19
5	食堂、そば・すし店	3 327	2.38	通信機械器具・同関連機械器具製造業	1 780	2.02	児童福祉事業	1 643	3.17

50～59歳									
順位	産業小分類	総数		産業小分類	男		産業小分類	女	
		就業者数	割合(%)		就業者数	割合(%)		就業者数	割合(%)
	15歳以上就業者数 1)	126 790	100.00	15歳以上就業者数 1)	79 400	100.00	15歳以上就業者数 1)	47 390	100.00
1	建設業	13 501	10.65	建設業	11 699	14.73	食堂、そば・すし店	3 193	6.74
2	食堂、そば・すし店	4 968	3.92	道路貨物運送業	3 475	4.38	各種食料点小売業 3)	2 598	5.48
3	道路貨物運送業	3 969	3.13	道路旅客運送業	2 206	2.78	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	2 010	4.24
4	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	3 926	3.10	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	1 916	2.41	建設業	1 802	3.80
5	各種食料点小売業 3)	3 071	2.42	食堂、そば・すし店	1 775	2.24	建物サービス業	1 639	3.46

60歳以上									
順位	産業小分類	総数		産業小分類	男		産業小分類	女	
		就業者数	割合(%)		就業者数	割合(%)		就業者数	割合(%)
	15歳以上就業者数 1)	79 781	100.00	15歳以上就業者数 1)	50 067	100.00	15歳以上就業者数 1)	29 714	100.00
1	建設業	8 721	10.93	建設業	7 440	14.86	建物サービス業	2 499	8.41
2	建物サービス業	4 460	5.59	建物サービス業	1 961	3.92	食堂、そば・すし店	2 061	6.94
3	食堂、そば・すし店	3 283	4.12	不動産賃貸業・管理業(別掲を除く)	1 866	3.73	建設業	1 281	4.31
4	不動産賃貸業・管理業(別掲を除く)	2 699	3.38	金属製品製造業	1 854	3.70	その他の社会保険・社会福祉・介護事業 6)	1 063	3.58
5	金属製品製造業	2 437	3.05	道路貨物運送業	1 571	3.14	遊興飲食店	849	2.86

- 1) 分類不能の産業を含む。
- 2) コンビニエンスストア(飲食料品を中心とするもの)、乾物屋など
- 3) 食料雑貨店、販売店(各種食料品を販売するもの)など
- 4) ハンバーガー店、お好み焼き屋など
- 5) 包装業、メーリングサービス、シルバー人材センターなど
- 6) 更生保護施設、訪問介護事業所など

(4)全国、15大都市からみた就業者の産業構成

常住地による産業小分類別15歳以上就業者割合を、全国及び15大都市別に比べてみると、川崎市の1位は、全国、他の大都市と同じく「建設業」になっています。川崎市の就業者数の産業構成は、隣接する横浜市とよく似た結果になっています。(表4)

表4 15大都市別就業者数の多い産業小分類 上位5位

順位	全国		川崎市		札幌市		仙台市	
	産業小分類	割合(%)	産業小分類	割合(%)	産業小分類	割合(%)	産業小分類	割合(%)
1	建設業	8.84	建設業	7.95	建設業	10.13	建設業	9.44
2	農業(農業サービス業を除く)	4.12	ソフトウェア業	5.12	病院	4.37	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	3.96
3	食堂、そば・すし店	2.87	食堂、そば・すし店	3.43	食堂、そば・すし店	3.33	食堂、そば・すし店	3.46
4	道路貨物運送業	2.87	道路貨物運送業	2.52	道路貨物運送業	3.16	病院	3.01
5	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	2.80	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	2.24	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	2.97	道路貨物運送業	2.65

順位	さいたま市		千葉市		東京都区部		横浜市	
	産業小分類	割合(%)	産業小分類	割合(%)	産業小分類	割合(%)	産業小分類	割合(%)
1	建設業	8.33	建設業	8.45	建設業	6.57	建設業	8.22
2	食堂、そば・すし店	3.23	食堂、そば・すし店	3.41	食堂、そば・すし店	4.33	ソフトウェア業	4.08
3	道路貨物運送業	2.94	道路貨物運送業	3.19	ソフトウェア業	3.01	食堂、そば・すし店	3.40
4	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	2.77	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	2.87	道路貨物運送業	2.40	道路貨物運送業	2.61
5	ソフトウェア業	2.45	病院	2.54	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	2.18	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	2.46

順位	静岡市		名古屋市		京都市		大阪市	
	産業小分類	割合(%)	産業小分類	割合(%)	産業小分類	割合(%)	産業小分類	割合(%)
1	建設業	9.86	建設業	8.53	建設業	6.52	建設業	8.12
2	道路貨物運送業	3.09	食堂、そば・すし店	3.76	食堂、そば・すし店	4.64	食堂、そば・すし店	4.39
3	食堂、そば・すし店	2.99	道路貨物運送業	3.15	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	3.71	道路貨物運送業	3.08
4	農業(農業サービス業を除く)	2.86	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	2.62	病院	3.31	金属製品製造業	2.72
5	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	2.53	病院	2.46	道路貨物運送業	2.23	病院	2.39

順位	神戸市		広島市		北九州市		福岡市	
	産業小分類	割合(%)	産業小分類	割合(%)	産業小分類	割合(%)	産業小分類	割合(%)
1	建設業	6.70	建設業	10.02	建設業	10.73	建設業	8.81
2	食堂、そば・すし店	3.57	病院	2.95	病院	3.97	食堂、そば・すし店	4.00
3	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	3.33	道路貨物運送業	2.94	道路貨物運送業	3.27	病院	3.54
4	病院	3.09	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	2.92	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	3.11	学校教育(専修学校、各種学校を除く)	2.94
5	道路貨物運送業	2.83	食堂、そば・すし店	2.76	食堂、そば・すし店	2.86	道路貨物運送業	2.67

1) 分類不能の産業を含む総数に対する割合

各都市の特徴を明らかにするため、特化係数※でみてみると、川崎市に住む15歳以上就業者数で、「石油精製業」の仕事をしている人の割合が、全国に比べ高く、次いで「ソフトウェア」の割合が高くなっています。また、3位の「映像・音声・文字情報制作に附帯するサービス業」、4位「映像・音声情報制作業」は、東京都でも割合が高くなっています。(表5)

※特化係数 … ここでいう特化係数とは、表4でもとめた産業ごとの就業者数割合を全国の割合で除した値。全国平均が1であり、それより高いと当該産業の就業者数の割合が全国平均より高いことを示します。

表5 15大都市別特化係数が高い産業小分類 上位5位

順位	川崎市		札幌市		仙台市		さいたま市	
	産業小分類	特化係数	産業小分類	特化係数	産業小分類	特化係数	産業小分類	特化係数
1	石油精製業	4.40	熱供給業	3.93	その他の保健衛生 1)	2.87	製本業、印刷物加工業	4.06
2	ソフトウェア業	4.10	電気通信業	2.48	電気通信業	2.84	光学機械器具・レンズ製造業	2.54
3	映像・音声・文字情報制作に附帯するサービス業	3.64	電気通信に附帯するサービス業	2.41	医薬品・化粧品等卸売業	2.53	出版業	2.37
4	映像・音声情報制作業	3.56	土木建築サービス業	2.06	信書送達業	2.50	情報処理・提供サービス業	2.35
5	通信機械器具・同関連機械器具製造業	3.53	専修学校、各種学校	1.95	専修学校、各種学校	2.42	電気通信業	2.34

順位	千葉市		東京都区部		横浜市		静岡市	
	産業小分類	特化係数	産業小分類	特化係数	産業小分類	特化係数	産業小分類	特化係数
1	石油精製業	4.31	映像・音声情報制作業	5.21	航空運輸業	4.12	茶・コーヒー製造業	7.99
2	航空運輸業	3.41	映像・音声・文字情報制作に附帯するサービス業	4.97	石油精製業	3.71	動植物油脂製造業	6.71
3	熱供給業	3.34	製本業、印刷物加工業	4.30	ソフトウェア業	3.27	がん具・運動用具製造業	6.64
4	精穀・製粉業	3.14	インターネット附随サービス業	4.30	通信機械器具・同関連機械器具製造業	3.25	その他の家具・装備品製造業 3)	6.35
5	信書送達業	3.01	出版業	4.28	各種商品卸売業 2)	2.78	その他の電気機械器具製造業 4)	5.72

順位	名古屋市		京都市		大阪市		神戸市	
	産業小分類	特化係数	産業小分類	特化係数	産業小分類	特化係数	産業小分類	特化係数
1	航空機・同附属品製造業	7.07	染色整理業	15.99	ゴム製・プラスチック製履物・同附属品製造業	5.57	ゴム製・プラスチック製履物・同附属品製造業	16.54
2	喫茶店	2.72	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	8.13	革製履物・同材料・同附属品製造業	3.94	革製履物・同材料・同附属品製造業	7.71
3	化学製品卸売業	2.45	織物業	7.05	かばん・袋物製造業	3.70	鉄道車両・同部分品製造業	6.58
4	鉱物・金属材料卸売業	2.42	その他の精密機械器具製造業 5)	3.45	衣服・身の回り品卸売業	3.18	動植物油脂製造業	5.51
5	その他の家具・装備品製造業 3)	2.32	その他の繊維工業 6)	3.27	製本業、印刷物加工業	3.18	船舶製造・修理業、船用機関製造業	5.11

順位	広島市		北九州市		福岡市	
	産業小分類	特化係数	産業小分類	特化係数	産業小分類	特化係数
1	その他のゴム製品製造業 7)	2.14	その他の石油製品・石炭製品製造業 9)	5.54	熱供給業	4.75
2	その他の一般飲食店 8)	2.09	陶磁器・同関連製品製造業	4.63	非預金信用機関	2.61
3	電気通信に附帯するサービス業	2.05	鉄鋼業	4.47	航空運輸業	2.44
4	電気業	2.02	化学肥料製造業	3.96	放送業	2.20
5	医薬品・化粧品等卸売業	1.99	競輪・競馬等の競走場、競技団	3.05	医薬品・化粧品等卸売業	2.14

1) 検査所(動物検査所、植物検査所を除く)、水質検査業など
 2) 総合商社、貿易商社(各種商品を取り扱うもの)など
 3) 仏具製造業、事務所用装備品製造業、店舗用装備品製造業など

- 4) 蛍光灯製造業、太陽電池製造業など
- 5) 体温計製造業、コンタクトレンズ製造業など
- 6) 刺しゅうレース製造業、組ひも製造業など
- 7) ゴム手袋製造業、ゴム製パッキン製造業など
- 8) ハンバーガー店(その場で飲食させるもの)、お好み焼き屋、今川焼屋など
- 9) 潤滑油製造業、コークス製造業など